

嫌なことに

／ーと言えない

時は



花を見て怒る人はいないので、仏教で花は優しさのシンボル。また、寒さに耐えて美しい花を咲かせることから、我慢の大切さも教えています。

優しさと我慢の二つの思いを花に託して仏壇やお墓に供えるのですが、亡き人や仏さまはその心の三割だけを花に託して仏壇やお墓に供えるのですが、亡き人「あなたの優しさや我慢する心は、時としてつぼみのままだったり、ことによってはしおれかかっているかもしれない。でもいつか、この花のようにきれいな花を心の中に咲かせてください」という応援の花束です。だから、私たちのほうに向けてお供えすると言われています。

さて、我慢について知っておいたほうがいいことがあります。

まず、**我慢は目標がないとできません**。誰でも我慢は嫌なものです、「この目標を達成したい」という思いがあれば、耐える力もわいてくるものです。